

■ **ご挨拶：平成29年度の活動へ向けて JVCシニアクラブ会長 菅沼 喜久次**

10月7日(金)、第15回(平成29年度)定期総会は別紙の総会議事録にありますように、ご参加いただきました会員の皆様のご了承をいただき、無事終了いたしました。

この総会にご出席されなかった会員におかれましては、総会議案書も同封いたしますので、お目通しを戴き、JVCシニアクラブの活動内容と今年度の方針についてご確認ください。



15回定期総会における菅沼会長挨拶

総会でのご挨拶でも述べさせていただきましたが、1999年9月9日にゼンキン連合と金属機械労組が合併・統合して産別労組のJAMが設立され、2001年9月、JAM高齢者・退職者の会(通称:JAMシニアクラブ)が結成されました。

それを受けて2002年10月にJAM・ビクター高齢者・退職者の会(通称:JVCシニアクラブ)も発足し、今年、第15回総会を迎えることができましたことは、ひとえに会員の皆様のご支援の賜物として深く感謝申し上げます。

会社現役時代には、多くの仲間と共に活動していても、定年後には周りに誰もいなくなると、一人閉じこもりの生活になると一気に老け込んでしまうことになります。

今や人生80～90歳といわれる時代にあつて、定年後、20～30年をどのようにして生活していくのか、個人で考えるだけではなく、国の制度・政策推進も含めて皆で考えていくことは重要なことでありましょう。

このような意味からシニアクラブはスタートいたしました。少子高齢化社会の中で、これからの国や社会を支える若い世代が活躍できる制度・政策の推進が重要なことではありますが、高齢者世代もイキイキと活躍できる社会に向けて、私たちは多くの力を結集していかなければなりません。

日本退職者連合は毎年9月に「全国高齢者集会」を開催し、要求実現に向けた行動を共にしようと呼びかけています。現在、全国で80万人強の組織ですが、これを100万人の組織とすることを目標としています。そして、活動内容は制度・政策要求にとどまらず、各地域における仲間づくりを促し、生きがいや健康づくりを目指しています。

JVCシニアクラブにおきましても同様に仲間づくり、健康づくりに貢献できれば、と願って活動を推進まいりました。

JAMシニアクラブは現在7千名強の組織で、目標は1万人です。この目標に向けて、JVCシニアクラブでも一人でも多くの方々が加入し、組織が拡大していくことを願っております。

スタート当時60名であった会員も、現在は250名ほどとなりました。会員の平均年齢は毎年高くなっていきますが、いつまでも健康に留意し、活動を進めてまいりたいと考えます。

今年度も会員皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくご挨拶申し上げます。

■ トピックス：築地市場 ⇒ 豊洲移転問題

東京都の小池知事は就任早々、築地市場の豊洲移転に関連して、都の行政体制にチェックを入れ、移転延期が決まりました。しかし、問題は地盤整備の問題から発展し、建物構造、環境問題に至り、マスコミは毎日のようにこれをテーマとして取り上げ、移転問題の根幹がどこにあったのか分からなくなってしまったようです。

大消費都市、東京には江戸時代から大正時代に至るまで日本橋の近くに300年以上も続いた魚河岸があり、現在、橋のたもとにその碑が建てられています。(写真:右) しかし、魚河岸は大正12年の関東大震災で壊滅し、新しい都市計画の下、築地に移転しました。

築地の地は、明治以降、海軍兵学校が建てられた場所で、銀座の「みゆき通り」は明治天皇がここを訪れる際に通った道といわれています。



ちなみに、海軍の土地の一部は明治時代前半には外国人居留地として使用されていて、明治5年に開通した新橋～横浜間の鉄道は、英国人の技師の下に、これは横浜と築地の両居留地を結んで敷設されたようなものだ、ともいわれています。

昭和10年(1935年)、築地市場は正式に中央卸売市場として開設され、最近では市場の機能だけではなく、場外市場を含めて観光資源としての価値も高まっています。

しかし、施設の老朽化が進み、周辺も雑多となり、新市場への移転計画が2004年に策定されました。予定では、今年(2016年)11月に豊洲新市場に移転することになっていましたが、現在の状況ではそれがいつになるのか、はたまた、豊洲に移転できるのか分からない状況となっています。シニアクラブとしては、新市場がオープンしたら、早速にも見学会を企画したいと思っていたのですが……。

昭和29年(1954年)には、ビキニ環礁での水爆実験で被爆した第5福竜丸から水揚げされた、いわゆる「原爆マグロ」が築地市場の地下に埋められていて、環境に対する考え方が時代とともに大きく変遷したことを感じさせられる新市場移転問題です。

■ 事務局から

1) 総会議案書の一部訂正のお詫び

10月7日に開催されました第15回定期総会において、参加代議員から、議案書5ページ 会計監査報告の中に一部記載の誤りがあると指摘されました。

総会に参加されなかった会員には議案書が同封されていますが、そのなかに正誤表を添付しましたので、なにとぞご了承ください。

2) 12月の勉強会開催ご案内

12月8日(金)に開催予定の「老舗企業の暖簾と伝統を知る勉強会」の案内を同封しました。シニアクラブ会員の活躍状況を聴き、自らもその刺激を受けながらイキイキと活動できることを期待しての会です。あわせて年末の懇親会も開催いたします。

人との交流を大切に、お酒はほどほどに(無理かな?)、健康に留意しながら楽しく進めたいと思っています。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

事務局長 田代 周